

# 第5回 ICF地域連携パス事例検討会(第1報)

## 最期まで「生きる」を支える地域連携

今回は、緩和ケア病棟に入院され、最期は自宅で過ごしたいという患者さまの思いをつないだ事例について検討します。当院に入院する2ヶ月前に進行がんを患っていることを告知され、自宅で療養をしていましたが、痛みや体のしんどさが強くなりました。入院してからは、痛みを和らげる治療を受けながら、ご自身の余命を感じ、家に早く帰りたいと訴えておられました。ご家族は、患者さまの思いを受け止め、自宅での看取りを決心されます。患者さま、ご家族の気持ちのゆらぎに寄り添いながらも、早期に拡大カンファレンスを開催し、退院に向けての調整を行いました。それぞれの職種や事業所が、患者さまの思いを叶えるために何が出来たのか、パスがどのように活用できたのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

日時 2023年2月9日(木) 17~18時

参加申込み



当日参加(ZOOM)

ミーティングID: 811 1029 9297  
パスコード: 238913  
16:30から入室できます

終了アンケート



- ① 緩和ケア病棟の紹介
- ② 事例紹介と入院中の多職種で行う退院支援

京都民医連中央病院 主治医 鈴木 史子  
IB病棟主任 加藤 直子

- ③ 退院後の様子と感想交流

安田花園クリニック 様  
他調整中

- ④ 質疑応答

主催 ◆ 京都民医連中央病院地域連携パスPJチーム  
問合せ窓口 甲田由美子(管理企画室)  
寺内 桃子(師長室)  
☎075-861-2220